



国立保健医療科学院（正面より：令和2年春）



平成31年度専門課程開講式（平成31年4月10日）



国際協力研修「保健衛生管理」開講式（令和元年7月3日）



令和元年度専門課程「保健福祉行政管理分野分割前期」「地域保健福祉専攻科」修了式（令和元年7月12日）



令和元年度専門課程Ⅲ「地域医療臨床研修専攻科」修了式（令和元年11月29日）



令和元年度専門課程Ⅲ「地域医療安全管理専攻科」「保健医療データ分析専攻科」「保健医療経済評価専攻科」修了式（令和元年12月3日）

# I 序

国立保健医療科学院  
院長 福島靖正

令和元（2019）年度の国立保健医療科学院（以下、「本院」）の年報をお届けします。

本院は、保健、医療、福祉及び生活環境に関連する業務に従事している専門職員等の養成訓練を行うとともに、これらに関する調査及び研究を行っており、これらを通じて、わが国の公衆衛生の向上に寄与することを使命としています。

養成訓練は、国及び地方公共団体等において、保健医療、生活衛生及びこれらに関連する社会福祉（以下「保健医療等」）に関連する業務に従事している職員やこれから従事しようとする方々に対し、保健医療等の基本理念、実践的な専門的知識・技術、最新の情報などの修得を目的として実施しており、研究課程、専門課程の長期研修と40コースの短期研修があります。また、途上国において保健医療行政に従事している行政官等を対象とした国際研修を3コース実施しています。令和元年度の修了者は研究課程1名、専門課程58名、短期研修1,801名、国際研修33名となっています。

調査研究は、本院の一般予算で実施している基盤的研究と厚生労働科学研究費補助金、科学研究費助成事業、日本医療研究開発機構（AMED）補助金等の外部研究資金を獲得して実施している研究があります。令和元年度に獲得した外部資金は課題数139、約2億3千万円となっています。

令和元年度は新型コロナウイルス感染症対策が開始された年として語り継がれると思いますが、新型コロナ対策をはじめとする健康危機管理を的確に実施するとともに、保健医療福祉領域における2025年問題、2040年問題を解決していく上で、地方自治体等における専門家の養成訓練及び政策立案、実施を支援する調査研究を進めていくという、本院の役割はますます重要になります。この役割を確実に果たせるよう、本院職員一同、力を合わせて、業務に取り組んでまいり所存です。皆様には、引き続き、ご理解及びご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。